





DIC フネン WO [腰壁システム] 施工要領書

※施工前に施工要領書の内容をよくお読み下さい。

※各ページの **ご注意!** 及び8ページの注意事項・免責事項もよくご確認下さい。

⚠ 安全上の注意	
 副資材または推奨の両面テープと接着剤を使用して施工して下さい。 落下の恐れがあります。	 建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工して下さい。 火災の恐れがあります。
 切断作業時には、粉塵が発生しますので、マスクや保護メガネ等を使用して下さい。 健康を害する恐れがあります。	 高所作業での足場の確認、および安全帯の使用を徹底して下さい。 ケガの恐れがあります。

■ 製品分類

DIC フネンWO 腰壁システム

用途	製品名
壁パネル	DIC フネン WO-6mm DIC フネン WO-3mm DIC 木質 WO-3mm
腰見切り 幅木 そのコーナー材	腰見切り(幅木兼用) 6TM, 3TM 幅木 6YM, 3YM 腰見切り(幅木兼用)コーナー 6TMC, 3TMC 幅木コーナー 6YMC, 3YMC
出隅	WO ジョイナー シート巻き 出隅 NA, 3R-7, 4A
見切り(入隅)	WO ジョイナー シート巻き 入隅 7C-5, 4C
目地テープ	WO 目地テープ

ご注意!

- ・火気に近い場所や、コンロ廻りでは使用しないで下さい。
- ・ビス、釘等による施工は出来ません。カケ、クラックの原因となります。
- ・冬季等、低温で接着しにくい場合は、接着剤、両面テープを温めてからご使用下さい。

■製品一覧

●壁パネル

製品名	不燃認定	サイズ(mm)	備考 仕様
DIC フネン WO-6mm	不燃認定 NM-4588,NM-1897,NM-1899 NM-4587,NM-4585	T6×W910×H1820 T6×W910×H2420	左右2R巻き込み
DIC フネン WO-3mm	不燃認定 NM-2422,NM-2423	T3×W910×H1820 T3×W910×H2420	左右ピン角巻き込み
DIC 木質 WO-3mm	不燃化粧板ではありません。 用途にご注意ください。	T2.7×W910×H1820	化粧MDF(左右ピン角巻き込み)
		T2.7×W920×H1830	化粧MDF(左右巻き込み無し)

●6mmパネル用部材

用途 分類	製品名	サイズ(mm)	備考 仕様
腰見切り, 幅木	腰見切り(幅木兼用) 6TM	T10×W50×H2700	化粧シート巻き ABS発泡樹脂
幅木	幅木 6YM	T10×W75×H2700	
腰見切りコーナー 幅木コーナー	腰見切り(幅木兼用)コーナー 6TMC	T50×W150×H150	
幅木コーナー	幅木コーナー 6YMC	T75×W150×H150	
出隅	WO ジョイナー シート巻き 出隅 NA	L=2730	化粧シート巻き アルミジョイナー
	WO ジョイナー シート巻き 出隅 3R-7	L=2730	
見切り(入隅)	WO ジョイナー シート巻き 入隅/下端 7C-5	L=2730	
目地テープ	WO 目地テープ	W=20	化粧シート粘着加工, 20m又は50m巻き

●3mmパネル用部材

用途 分類	製品名	サイズ(mm)	備考 仕様
腰見切り, 幅木	腰見切り(幅木兼用) 3TM	T7×W50×H2700	化粧シート巻き ABS発泡樹脂
幅木	幅木 3YM	T7×W75×H2700	
腰見切りコーナー 幅木コーナー	腰見切り(幅木兼用)コーナー 3TMC	T50×W150×H150	
幅木コーナー	幅木コーナー 3YMC	T75×W150×H150	
出隅	WO ジョイナー シート巻き 出隅 4A	L=2424	化粧シート巻き アルミジョイナー
見切り(入隅)	WO ジョイナー シート巻き 入隅 4C	L=2424	
目地テープ	WO 目地テープ	W=20	化粧シート粘着加工, 20m又は50m巻き

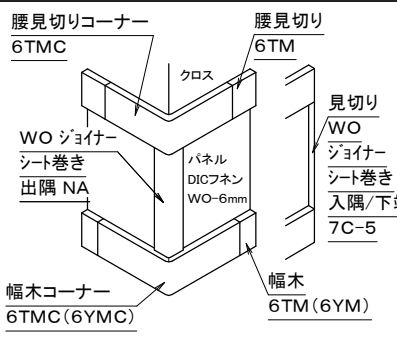
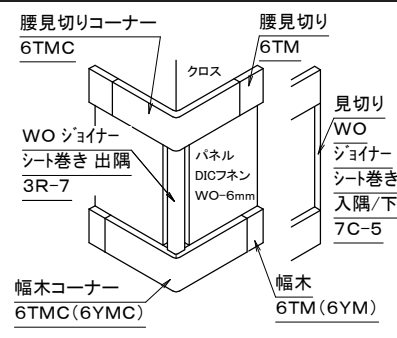
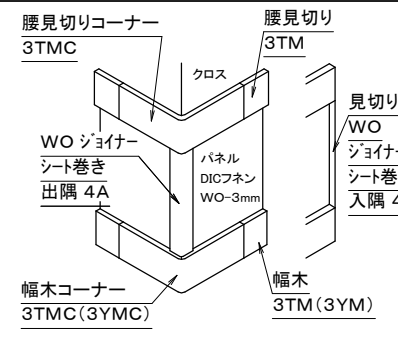
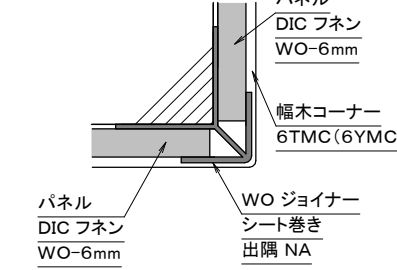
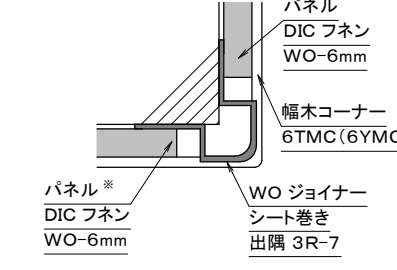
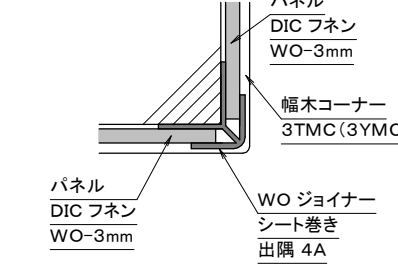
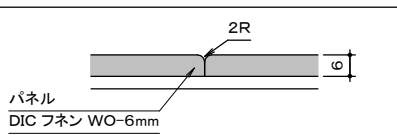
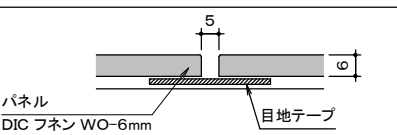
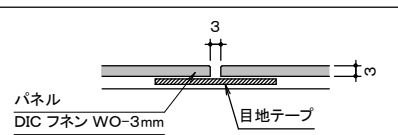
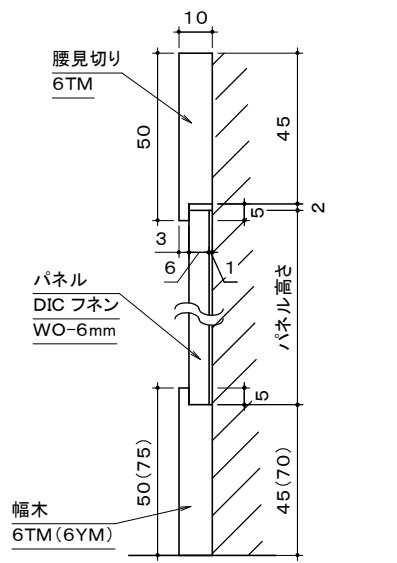
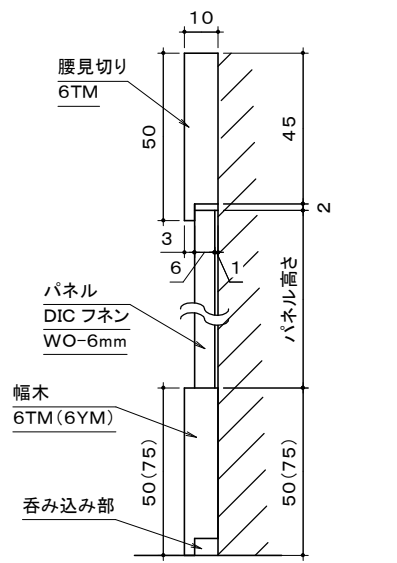
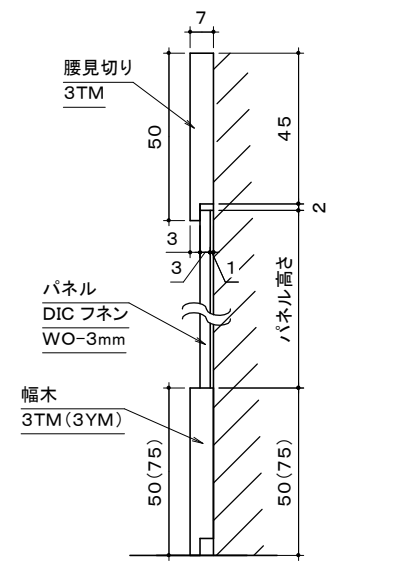
●施工用副資材

用途 分類	製品名	サイズ(mm)	備考 仕様
接着剤	DICフネン壁・天井ボード接着剤	333ml/カートリッジ	壁パネル施工用接着剤
両面テープ	ダイタックDK1	20mm巾×10m巻き	壁パネル施工用両面テープ

■施工用資材推奨品一覧

製品名	販売会社	用途
ボンドMPX-1, ボンドSU25	コニシ株式会社	壁パネル施工用接着剤 腰見切り、幅木、各コーナー材施工用接着剤
セクスイボンド#75-B	積水フーラー株式会社	
ボードロックSF	セメダイン株式会社	
ファインタック	和翔商事株式会社	
パネルボンドMK-720	株式会社タイルメント	壁パネル施工用両面テープ
ボンドTMテープW1, ボンドWF118	コニシ株式会社	
ダブルタックテープ#532S	積水化学工業株式会社	
ボードテープ310	セメダイン株式会社	
仮留めテープZK-55WS	和翔商事株式会社	
ボードタック	株式会社タイルメント	
Ecoタッチアップマーカー	株式会社ハウスボックス	

■納まり図

WO-6mm		WO-3mm
突き付け	目透かし	目透かし
		
	 <p>※パネルは左右ピン角巻き込みを表記。</p>	
		
 <p>※突き付け納めの場合は、幅木の呑み込み部を上にして下さい。</p>	 <p>※目透かし納めの場合は、幅木の呑み込み部を下にして下さい。上にするとはこりがたまります。</p>	 <p>※目透かし納めの場合は、幅木の呑み込み部を下にして下さい。上にするとはこりがたまります。</p>
パネル高さ=腰壁高さ-92mm (117mm)	パネル高さ=腰壁高さ-97mm (122mm)	
WOジョイナー高さ=腰壁高さ-100mm (125mm)		

ご注意!
 ・DIC フネン WO-3mmと、DIC 木質 WO-3mmは、突き付け納めはできません。目透かし納めをして下さい。

■ 施工要領

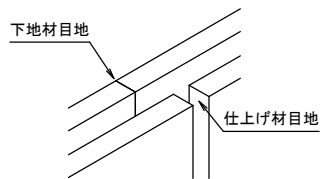
【施工前の下地の確認】

- ・下地は不陸の無いように仕上げてください。
- ・下地がけい酸カルシウム板の場合、テープの接着が悪い場合があります。市販のプライマー塗布をおすすめします。

施工可能な下地	・石膏ボード ・けい酸カルシウム板 ・フレキシブル板
ご注意！ 施工に適さない下地	・タイル面 ・湿気を帯びた下地及びモルタル、RC壁面への直貼り ・ALC躯体への直貼り ・塗装面、クロス面、化粧面への直貼り

1

割付け



施工図に従い、施工箇所の下地に化粧板の割付けを行ってください。

ご注意！

- ・割付けの際、下地の目地と化粧板の目地が重ならないようにして下さい。

2

壁パネル(化粧板)の加工

■ 切 断

必ず裏面から電動マルノコをあててカットして下さい。

(化粧面は、プロテクター仕様ではありません。「キズ・打跡」には充分注意して下さい)

お手元のハンディソーに合った外形、刃厚でチドリ刃をご使用下さい。(又はなるべく刃数の多いチップソー)

メラミン不燃化粧板用のチップソーでも切断することが出来ます。

■ 切断部木口の面取り加工

サンドペーパー等を使用し、面取りをして下さい。

面取りは各作業所にて所定の大きさに仕上げ、必要な場合、タッチアップマーカ(推奨品)にて塗装して下さい。

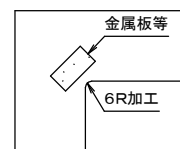
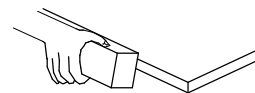
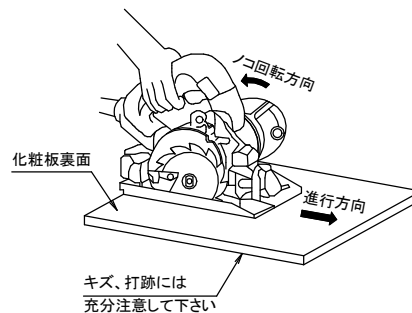
■ 切り欠き部の補強

割付け上、やむを得ず切り込み部が発生する場合は、内コーナーは6R以上取るようにして下さい。

切断、穴あけ後は、サンドペーパーで木口を整えて下さい。

開口部では化粧板の変形によるクラックが発生しやすくなります。変形を抑えるため、図③の様に金属板や接着剤等を化粧板裏面にスペーサーとして配置することを推奨します。

例) 厚さ0.8×30×50mm程度のサビ止めした鋼板をエポキシ系接着剤などで化粧板の裏に貼って下さい。



2'

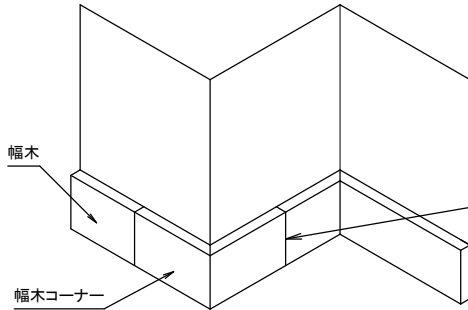
腰見切り材等(樹脂発泡品)

WO ジョイナー(アルミジョイナー)の切断加工

- ・電動マルノコを使用して切断して下さい。
- ・WO ジョイナー切断時には、金属用の刃物を使用して下さい。
- ・WO ジョイナーの高さのカットサイズについては、P3納まり図及び、P5 **4** を参照下さい。

3

幅木コーナー材と幅木の貼付け

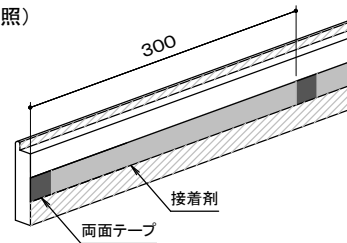


- ・幅木コーナー材を貼ってから、隣接する幅木を合わせます。
- ・入隅部の幅木の納め方は、突き付け納めにして下さい。

接合部の段差や隙間が気になる場合は、貼り付け前の幅木断面に近似色のタッチアップマーカ―(推奨品)を塗って下さい。もしくは、幅木コーナー材と幅木を予め瞬間接着剤等で接着してから施工して下さい。

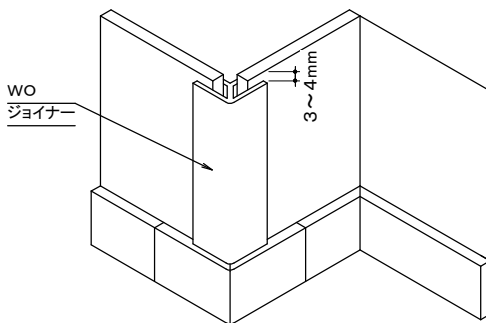
ご注意！

- ・幅木の呑み込みの向きを間違えないようにして下さい。(P3納まり図参照)
- ・部材の裏側に、薄手の両面テープを300mmピッチで貼り、残り全体に推奨接着剤を塗布して、施工して下さい。
- ・部材を貼り付け後、ピンネイル等を使って固定して下さい。
- ・ピンネイルを打った部分は、同色の補修剤等でタッチアップして下さい。



4

出隅と出隅部の壁パネルの貼り付け



WO ジョイナーの裏面に両面テープを貼り合わせ、出隅部下地に貼り付けます。

WO ジョイナーは、壁パネルと予め一体化させて施工して下さい。化粧板をジョイナーに差し込む場合には、化粧板裏面に巻き込んでいる化粧シートを剥がして下さい。壁パネルの貼り合わせ方法は、[5]を参照して下さい。

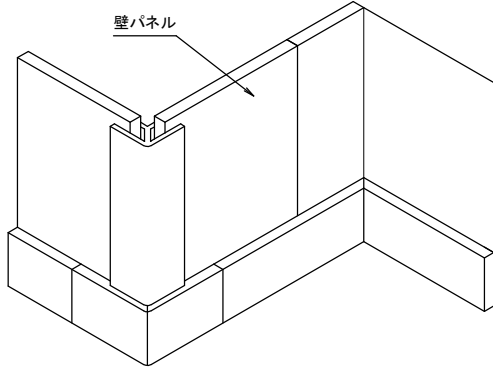
腰見切りの呑み込み分だけ出隅の高さを低くして下さい。

ご注意！

- ・WO ジョイナーの固定には、粘着力が強く、薄いタイプの両面テープをご使用下さい。壁パネル用の推奨両面テープを使用すると、テープに厚みがある為、パネルや幅木との納まりが悪くなります。

5

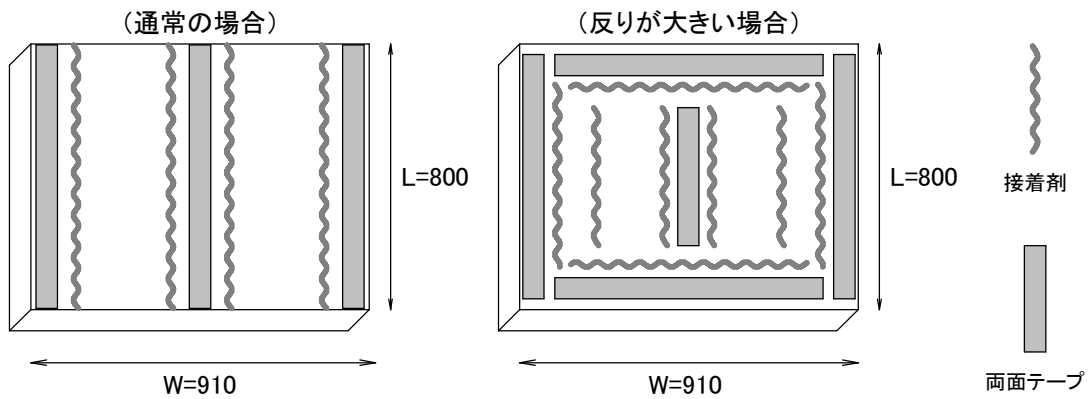
壁パネルの貼付け



- ・下図の通り、壁パネルの裏面に両面テープを貼り、接着剤を塗布します。
- ・両面テープの離型紙を剥がし、壁面に貼ります。
- ・両面テープの位置を手で押さえ込むようにして、壁パネルを壁面に十分に圧着させてください。

●接着剤塗布パターン

※接着剤は直線状に塗布して下さい。

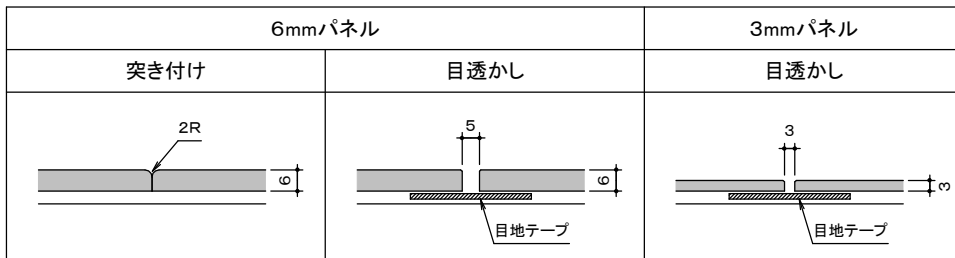


●(参考)壁パネル1枚あたりの材料使用量(壁パネル W910×H800の場合)

使用箇所 使用材料	通常の場合		反りが大きい場合	
	ピッチ	推奨使用量	ピッチ	推奨使用量
接着剤	300mm以内	0.4本 (1㎡あたり0.5本)	200mm以内	0.7本 (1㎡あたり0.9本)
両面テープ	450mm以内	2.5m (1㎡あたり3.3m)	450mm以内	3.0m (1㎡あたり4.0m)

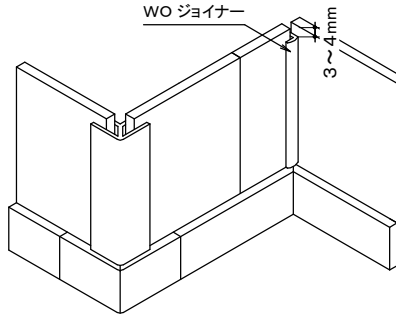
●平目地の納め方

・目地を目透かし施工する場合は、目地テープをご使用下さい。



6

入隅と入隅部の壁パネルの貼り付け



下図の納まり図を参考に、入隅部を施工して下さい。

WO ジョイナーは、壁パネルと予め一体化させて施工して下さい。化粧板をジョイナーに差し込む場合には、化粧板裏面に巻き込んでいる化粧シートを剥がして下さい。壁パネルの貼り合わせ方法は、[5]を参照して下さい。

WO ジョイナーを使用する場合には、腰見切りの呑み込みの分だけ、ジョイナーの高さを低くして下さい。

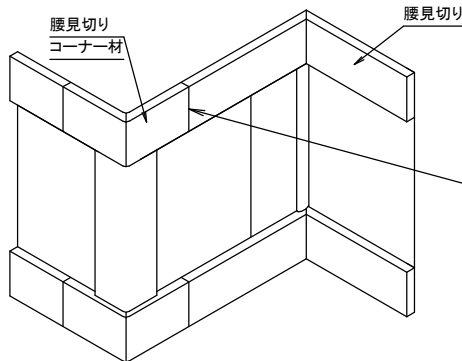
6mmパネル		3mmパネル
突き付け	ジョイナー	ジョイナー

ご注意！

- ・WO ジョイナーの固定には、粘着力が強く、薄いタイプの両面テープをご使用下さい。壁パネル用の推奨両面テープを使用すると、テープに厚みがある為、パネルや幅木との納まりが悪くなります。

7

腰見切りコーナー材と腰見切りの貼り付け

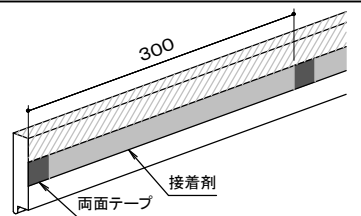


- ・腰見切りコーナー材を貼ってから、隣接する腰見切りを合わせます。

接合部の段差や隙間が気になる場合は、貼り付け前の腰見切り断面に近似色のタッチアップマーカ―(推奨品)を塗ってください。もしくは、腰見切りコーナー材と腰見切りを予め瞬間接着剤等で接着してから施工してください。

ご注意！

- ・部材の裏側に、薄手の両面テープを300mmピッチで貼り、残り全体に推奨接着剤を塗布して、施工して下さい。
- ・部材を貼り付け後、ピンネイル等を使って固定して下さい。
- ・ピンネイルを打った部分は、同色の補修剤等でタッチアップして下さい。



8

養生 清掃 片付け

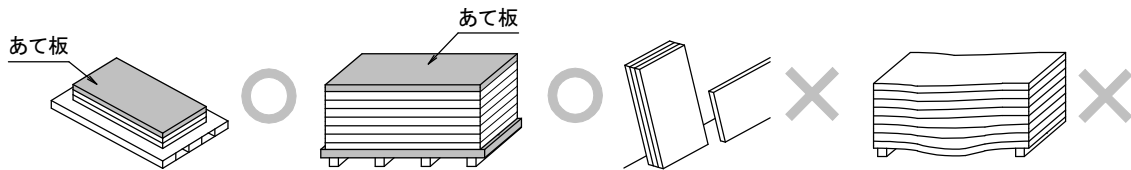
- ・貼り合せ後、24時間以上養生して下さい。
- ・化粧面の汚れは中性洗剤によりウエス等で拭き取して下さい。

ご注意！

- ・仮押さえなどの目的で、テープを貼る場合は、弱粘着タイプの養生テープをご使用ください。

■保管、持ち運びに関する注意事項

- 在庫保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管して下さい。
- 化粧板の地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みして下さい。
壁などに立てかけると、反りや破損の原因になりますので、絶対におやめ下さい。
- パレットには、製品の荷重に耐えうる十分な厚みの敷板を使用して下さい。
- 化粧板を持ち運ぶ際には、化粧板がたわまないように、2人作業で立てて持ち運んで下さい。
- 鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますのでお避け下さい。
- 局部荷重や衝撃により割れることがありますので、重量物を載せたり上に乗ったりしないで下さい。
- 腰見切り材等は樹脂製品のため、温度により極僅かながら伸縮する性質があります。
環境によっては施工後、接合部にすき間が生じることがありますので、
施工要領書に記載した方法で施工して下さい。



■その他の注意事項

①使用場所に関する注意

- ・火気に近い場所や、コンロ廻り、常時水分と接するような場所では使用しないで下さい。
- ・玄関、トイレ等の水に浸される可能性がある場所に施工する場合には、化粧板はたたきから50mm以上上げてお使い下さい。

⚠ 注意: 浴室内には使用しないで下さい。

②廃棄時に関する注意

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき許可を受けた業者で適正な処理を行って下さい。

■免責事項

- ①本施工要領書に記載した取扱い注意事項が行われずに発生した不具合
- ②施工業者による施工、取扱いに起因する不具合
- ③建物の構造・下地の変形・老朽化等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- ④使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑤引き渡し後、構造・性能・仕様等の改造を行い、これに起因する不具合
- ⑥地震・台風等の天災、火災等の特殊要因により発生した不具合

DICデコール株式会社 建築材料営業部

東京

〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
TEL:03-6733-6172 FAX:03-6733-6199

大阪

〒541-8525 大阪府中央区久太郎町3-5-19
TEL:06-6252-9551 FAX:06-6252-9713